

# シングルレバー混合水栓

LF-YD340SY 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。  
品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 商品概要 .....	1
■ 安全上のご注意 .....	3

■ ご使用方法 .....	7
■ 凍結のおそれがある場合 .....	9

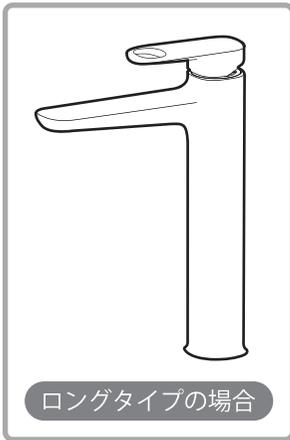
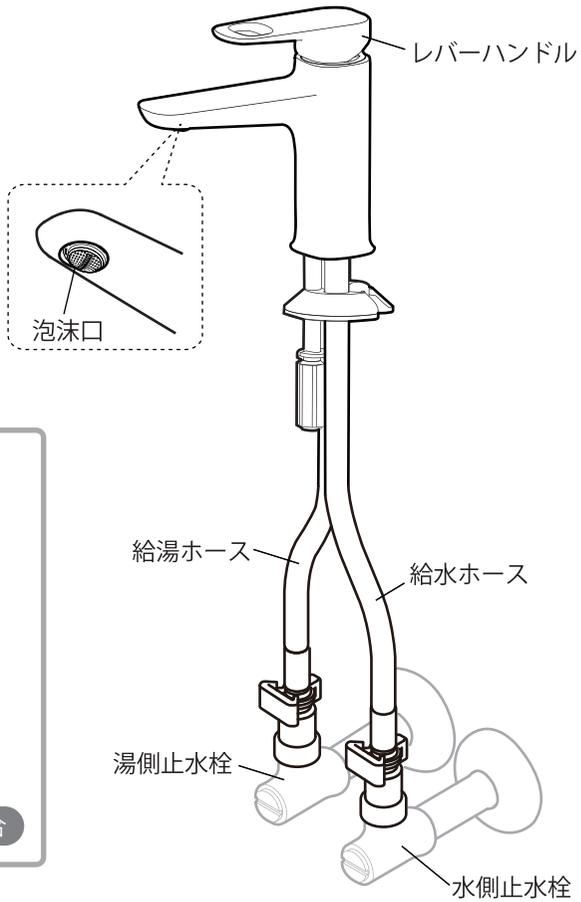
■ 日常のお手入れ .....	12
■ 定期的なお手入れ .....	13
■ 定期的な部品交換のお願い .....	15

■ 修理を依頼される前に .....	16
■ アフターサービスについて .....	19

保証書 .....	裏表紙
-----------	-----

# 商品概要

## 各部の名称



## 【商品一覧表】

品番	水栓の高さ	仕様	ポップアップ棒
LF-YD340SY 型	標準タイプ	一般地	あり
LF-YD340SYC 型	標準タイプ	一般地	なし
LF-YD340SYN 型	標準タイプ	寒冷地	あり
LF-YD340SYCN 型	標準タイプ	寒冷地	なし
LF-YD340SYHC 型	ロングタイプ	一般地	なし

### ご使用前に

## ●給湯機器と組み合わせてご使用の場合

安全のため給湯機器の設定温度は 60℃以下にしてご使用ください。

※不意に熱い湯が出てヤケドをするおそれがあります。

【ガス給湯器をご使用の場合】

- 少ない水量で使用すると、給湯器の運転に必要な流量に満たず、給湯器が点火しない場合があります。このときは、止水栓もしくは水栓のハンドルを開き、流量を増やしてください。
- 水温が高いときは、給湯器が点火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度を少し上げて試してください（夏は水温が高く、冬は水温が低くなります）。

# 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明

<b>警告</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
<b>注意</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 (禁止)	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 (分解禁止)	「分解してはいけません！」
 (接触禁止)	「指示した場所には触れてはいけません！」
 (指示)	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

**⚠ 警告：ヤケドをしないために**

 (禁止)	<p>小さいお子さまただけでのご使用は避けてください。                  ※ヤケドやケガをするおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>湯をご使用のときは、他所の水栓と同時に使用しないでください。                  ※圧力変動により湯温が上昇し、ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>給湯器の設定温度は 85℃より高温にしないでください。                  ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。                  ※ヤケド防止のため、給湯器の設定温度は 60℃をおすすめします。</p>	
 (接触禁止)	<p>高温の湯をご使用のときは、吐水口が高温になりますので、直接触れないでください                  ※ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (接触禁止)	<p>高温の湯をご使用のときは、水栓の左側が高温になっていますので、直接触れないでください。                  ※ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (接触禁止)	<p>高温の湯をご使用のときは、レバーハンドル周辺が高温になる場合がありますので、直接触れないでください。                  ※ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>高温の湯をご使用のあとは、水栓内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。                  ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にして閉めてください。                  ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>湯をご使用のときは、必ず水を出したあとに、ゆっくりと温度を調節してください。                  ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>ご使用になる前に、必ず素手で適温であることを確認してください。                  ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。</p>	

**⚠ 警告：ヤケドをしないために**

 (指示)	<p><b>給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。</b>                  ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。</p>	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (禁止)	<p><b>【寒冷地の場合】</b>  <b>水抜栓は、水抜き以外の目的で開けないでください。</b>                  ※高温の湯が出てヤケドをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害が発生したりするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p><b>定期的にごタツキがないか確認してください。</b>                  ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

**⚠ 警告：正しくご使用いただくために**

 (分解禁止)	<p><b>修理技術者以外の方は絶対に、分解したり、修理・改造したりしないでください。</b>                  ※ケガや、故障・破損のおそれがあります。</p>	
--	---	--

**⚠ 注意：正しくご使用いただくために**

 (禁止)	<p><b>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。</b>                  ※商品の内部腐食により、漏水、故障の原因となります。                  ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。</p>	水道水のみ OK 
 (指示)	<p><b>毎朝ご使用になる前に、約 10 秒間水を流してください。</b>                  ※水道水が水道管の中に長い時間滞留していると、使用している水道管の種類にもよりますが、水道水に臭いが付くことがあります。また、長時間水道を使用しないと、水道水中の残留塩素が無くなる場合があります、不衛生になります。</p>	(毎朝)  使用前に約 10 秒間通水
 (禁止)	<p><b>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。</b>                  ※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p><b>オーバースロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないでください。</b>                  ※漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

## ⚠ 注意：正しくご使用いただくために

 (指示)	<p><b>ハンドルはゆっくり操作してください。</b>                  ※ハンドルを急に閉めると配管に衝撃が加わり、配管の損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p><b>めっきのハガレはそのまま放置せずに、修理依頼をしてください。</b>                  ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼はお買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。</p>	
 (禁止)	<p><b>使い始めの水は飲用しないでください。</b>                  ※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。</p>	
 (指示)	<p><b>断水時はレバーハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。</b>                  ※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

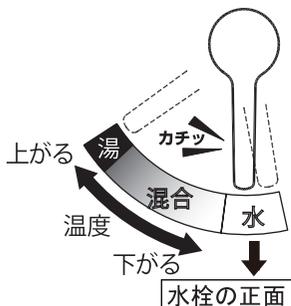
## ⚠ 注意：凍結防止のために

 (指示)	<p><b>凍結のおそれがあるときは、本誌内「凍結のおそれがある場合」をご参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。寒冷地の場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</li> </ul>	
 (指示)	<p><b>凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。</b>                  ※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。                  ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。</p>	
 (禁止)	<p><b>解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</b>                  ※水栓が発熱して破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

# ご使用方法

この水栓は、よく使う正面のハンドル位置で「水」を出す省エネ設計です。湯を無意識に使うことがなく、無駄な給湯エネルギーを使いません。

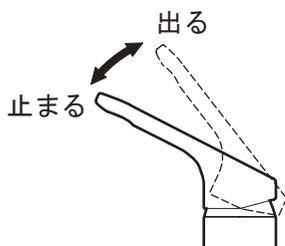
## 温度の調節



レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へまわすと、しだいに温度が上がります。

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

## 水を出す・止める・流量を調節する



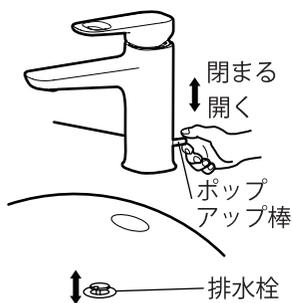
レバーハンドルの上げ具合で、水が出る量を調節できます。レバーハンドルがどの位置であっても下げると水が止まります。

レバーハンドルはゆっくり操作してください。水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が発生する場合があります。

レバーハンドルの操作が、使い始めより重くなる場合があります。

※ご使用いただくうちに(0～6ヵ月程度)、内部の部品がなじむ現象で、故障ではありません。

## 排水栓を開閉する



【ポップアップ付の場合】  
ポップアップ棒を上げると閉まり、下げると開きます。

## 凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。

凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。

凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

### 凍結予防のしかた

水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお氷点下になることが予想される場合は次の対策をしてください。

#### 一般地の場合

凍結のおそれがある場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合があります。

- 少量の糸引き状の水を出したままにする。  
※シングルレバー水栓の場合は混合位置にしてください。給湯器を着火させる必要はありません。
- 配管などに保温材を巻く。



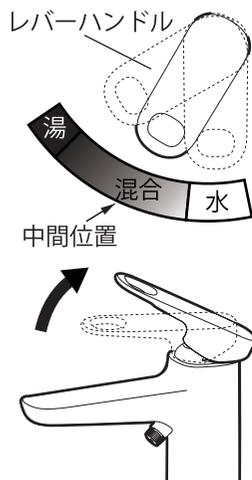
## 寒冷地の場合

凍結のおそれがある場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

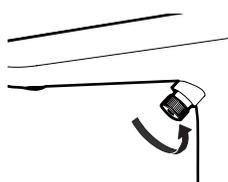
### 準備

ご自宅の配管の水抜きをしてください。

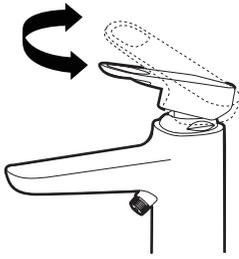
必ず実行してください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。



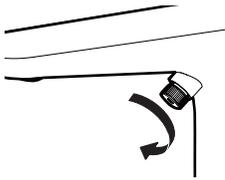
1. レバーハンドルを湯と水の中間位置にしていっぱいまで上げる。



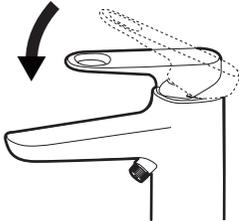
2. 水抜栓を矢印の方向にいっぱいまでまわして開ける。



3. レバーハンドルをいっぱいまで上げた状態で数回、水側から湯側までまわす。



4. 水抜栓を矢印の方向にいっぱいまでまわして閉じる。



5. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを下げる。

レバーハンドルを上げたまま放置すると、凍結して下げられなくなることがあります。その場合は無理な操作をしないでレバーハンドルを上げたまま自然解凍してください。

# 日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

## 布などを使用したお手入れ

- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。それでも落ちないときは水拭きしてください。
- 水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- お手入れ後は、水滴や汚れを残さないように、から拭きしてください。
- 黒色の水栓は表面保護のためにオイルが塗布されています。お手入れの際に表面を拭いた布が黒っぽくなる場合がありますが、オイルの染みや汚れによるもので問題ありません。

### 重要

商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。



- メラミンフォームをご使用の際は、こすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水洗いしてください。

変色やキズがついてしまった場合は、お買い求めの取扱店・販売店または LIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

# 定期的なお手入れ

長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。お手入れのときに異常を見つけた場合は、お買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

また漏水している場合は、修理を依頼される前に止水栓または元栓を閉めてください。

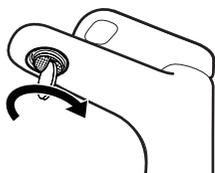
## 泡沫口の掃除

1. 排水口の中に部品を落とすおそれがあるため、排水栓を閉じる。排水栓のないタイプは、排水口の上にタオルや洗面器を置く。



2. 泡沫口の溝に板状のもの（メダルなど）を当てて泡沫口を矢印の方向にまわして取り外し、ゴミなどを洗い流す。

泡沫口のパッキンを傷つけないよう注意してください。



3. 泡沫口の溝に板状のもの（メダルなど）を当てて泡沫口を矢印の方向へ止まるまでまわす。

## 水まわりの漏水(年2回以上)

洗面台やキッチンキャビネット内の水まわりの漏水がないか点検してください。

見えない部分は特に注意が必要です。

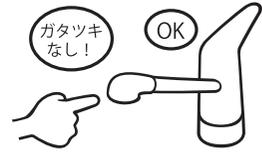
劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



## 水栓本体のガタツキ(年2回以上)

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



## 定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。お買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

### 摩耗劣化する部品の交換

・部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。  
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。

・摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）

例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジなど）、パッキンなど

### <定期的な点検・部品交換のめやす>

使用年

／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 ／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 ／ 10 ／ 11 ／ 12

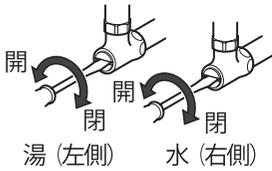
お客さまによる日常のお手入れ・点検

消 耗 部 品 の 交 換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3年～5年）

買換え  
ご検討

# 修理を依頼される前に



漏水している場合は、水側と湯側の止水栓を閉めてください。

その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

温度が安定しない、温度調節がうまくできない		
給湯機器は正常に作動していますか？	給湯器が正常に作動している場合でも、給湯器と水栓の配管距離が長い場合は、湯が出てくるまで時間がかかる場合があります。湯の位置にして水を出したまま、しばらくお待ちください。	—
他の場所（トイレ、キッチン、洗面など）で同時に水栓を使用していませんか？	配管内の水圧が変化することで、温度が不安定になる場合があります。他の場所の水栓と同時に使用しないでください。	—
しばらく流したら、湯が出てきませんか？	給湯器と水栓金具の配管距離が長い場合は、湯が出てくるまで時間がかかります。温度が安定するまで湯を出し続けてからご使用ください。	—
ハンドル位置が湯側になっていることを確認してください。	エコハンドル仕様のため、レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へまわすと吐水温度が上がります。	P.7
レバーハンドルは十分に開いていますか？	湯の流量が少ないと、給湯器が点火しません。レバーハンドルを十分に開けてご使用ください。	—
湯水の止水栓は調整されていますか？	湯の流量が少ないと、給湯器が点火しません。また水圧が高いか、湯水の圧力に差があることも考えられます。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、湯側・水側の止水栓を調整してください。	P.18
泡沫口にゴミが詰まっていますか？	泡沫口にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.13

水が出ない		
湯水の止水栓は十分に開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.18
断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
泡沫口にゴミが詰まっていますか？	泡沫口にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.13

水栓から音がする		
レバーハンドルを早く閉めていませんか？	水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が考えられます。止水栓で流量を適切に調整いただくか、ゆっくりとレバーハンドルを閉めてください。	P.7
流量は止水栓で適切に調整されていますか？	流量が多いと、水が流れる流水音がします。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.18

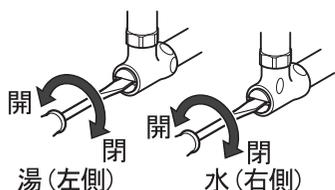
流量が少ない		
レバーハンドルは十分に開いていますか？	レバーハンドルを十分に開けてご使用ください。	—
湯水の止水栓は十分に開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.18
泡沫口にゴミが詰まっていますか？	泡沫口にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.13

流量が多い		
止水栓を適切に絞っていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.18

レバーハンドル操作が始めより重くなる		
故障ではありません。	ご使用していただく間(0～6ヵ月程度)に、内部の部品がなじむことによる現象です。	—

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、お買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

## ● 止水栓による流量調整



1. レバーハンドルを湯側いっぱい位置にして全開にします。
2. 湯側の止水栓をまわして適量に調整します。
3. レバーハンドルを水側いっぱい位置にして全開にします。
4. 湯の吐出量とほぼ同じになるように水側の止水栓を調整します。

# アフターサービスについて

## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.16)」を確認してください。

### ⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。  
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



## 2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

**保証期間は取付けの日から2年間です。**

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼される時

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

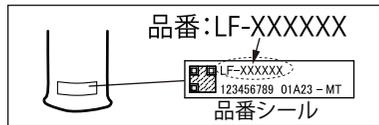
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号    | 2. 商品名    |
| 3. 品番 (商品に表示、右記参照) | 4. ご購入日   |
| 5. 故障内容、異常の状況      | 6. 訪問ご希望日 |



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

## 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品 (商品の機能を維持するために必要な部品) を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

## 5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ

■WEB サイトからの修理依頼はこちら

※24 時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00 ~ 19:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末等は緊急時のみ対応)

TEL ☎ **0120-179-411**

FAX ☎ **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

土日・祝日 9:00 ~ 17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

TEL ☎ **0120-179-400**

FAX ☎ **0120-179-430**

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用いただけません。

下記番号をご利用ください。

TEL **0562-40-4050**

FAX **0562-40-4053**

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社 プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：シングルレバー混合水栓 (品番： )	
保証期間	取付日より2カ年 ( ) 年 月 日
取付日	取付日
お客さま	おなまえ
	おとこ
	おでんわ
	( ) - ( )
	TEL ( ) - ( )

無効

お客さまへ	・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。 ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理 対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
-------	--

## 無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご購入品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
  - 用途以外 (車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等) に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
  - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形 (強度不足・ゆがみ) 等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現象 (塗装の色あせ、もらい錆等) または使用に伴う消耗部品の摩擦等により生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境 (煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス) に起因する不具合
  - 小動物 (犬、猫、ねずみ、昆虫等) の行為または蔓 (つる) や根などの植物の害に起因する不具合
  - 自然現象 (火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等) に起因する不具合による故障及び損傷
  - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
  - 消耗品 (浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池等) 類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
  - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
  - 寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境 (異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等) に起因する故障及び損傷などの不具合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造日切後10カ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400 ※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用

FAX ☎ 0120-179-430 できない場合がございます。

受付時間 平日 9:00~18:00 下記番号をご利用ください。

土日・祝日 9:00~17:00 TEL 0562-40-4050

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く) FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL 修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら ※24時間依頼可能

■お電話でも修理を承ります

受付時間 / 9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>